

青ヶ島の火山活動解説資料（令和 7 年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～3）

手取山監視カメラ及び尾山展望公園監視カメラ（ともに丸山の北北西約 1 km）による観測では、噴気は認められません。また、丸山西斜面とカルデラの西側内壁に引き続き地熱域が認められていますが、特段変化はありません。

1 日に現地調査を実施しました。丸山西斜面、外輪山の内側西斜面、丸山北東側で目視・赤外線映像観測を実施した結果、前回（2016 年）と比べ地熱域に特段の変化は認められず、噴気は確認されませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 4－①）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 4－②）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



図 1 青ヶ島 丸山周辺の状況（10 月 28 日 手取山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和 7 年 11 月分）は令和 7 年 12 月 8 日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、海上保安庁、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 青ヶ島 カルデラ内の地表面温度の状況（左上、右上、左下：尾山展望公園監視カメラによる、右下：2023年2月2日に撮影した同場所からの写真）
・地熱活動（赤点線及び黄色点線で示した範囲）に変化は認められません。

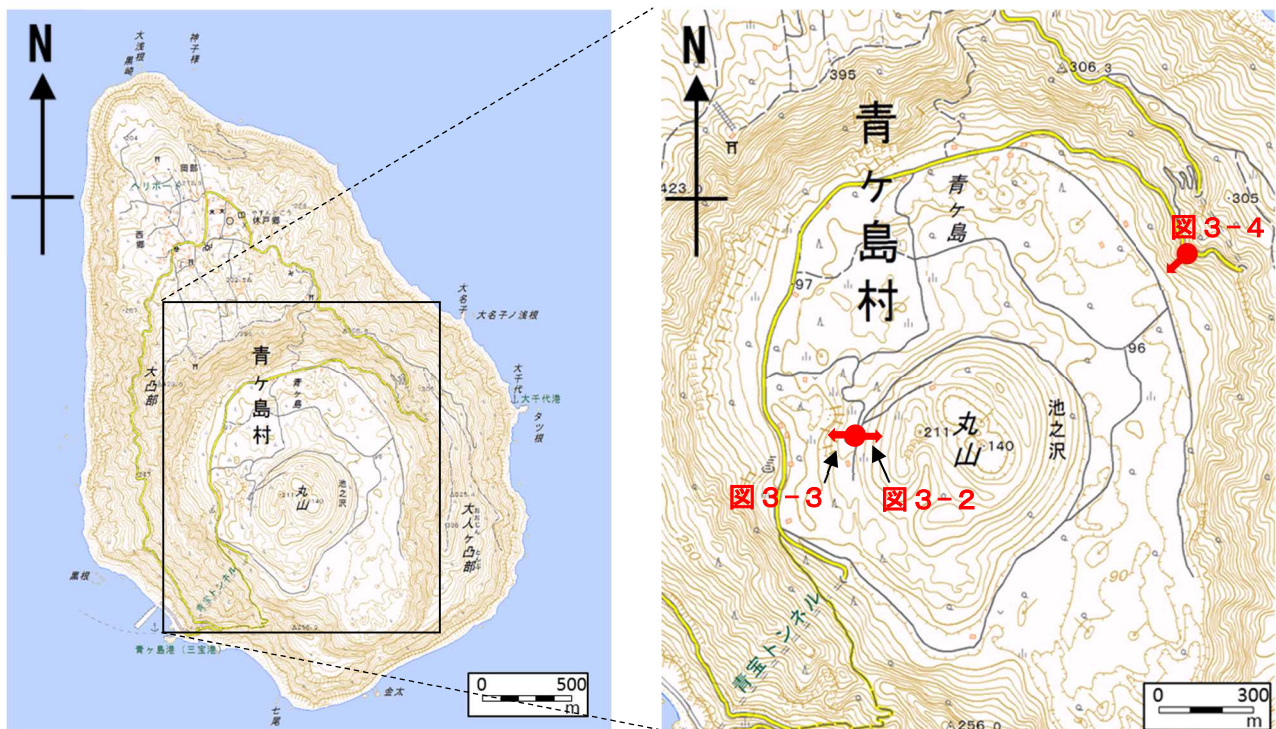


図3-1 青ヶ島 目視・熱観測の撮影位置
現地調査の撮影位置及び撮影方向を赤矢印で示しています。

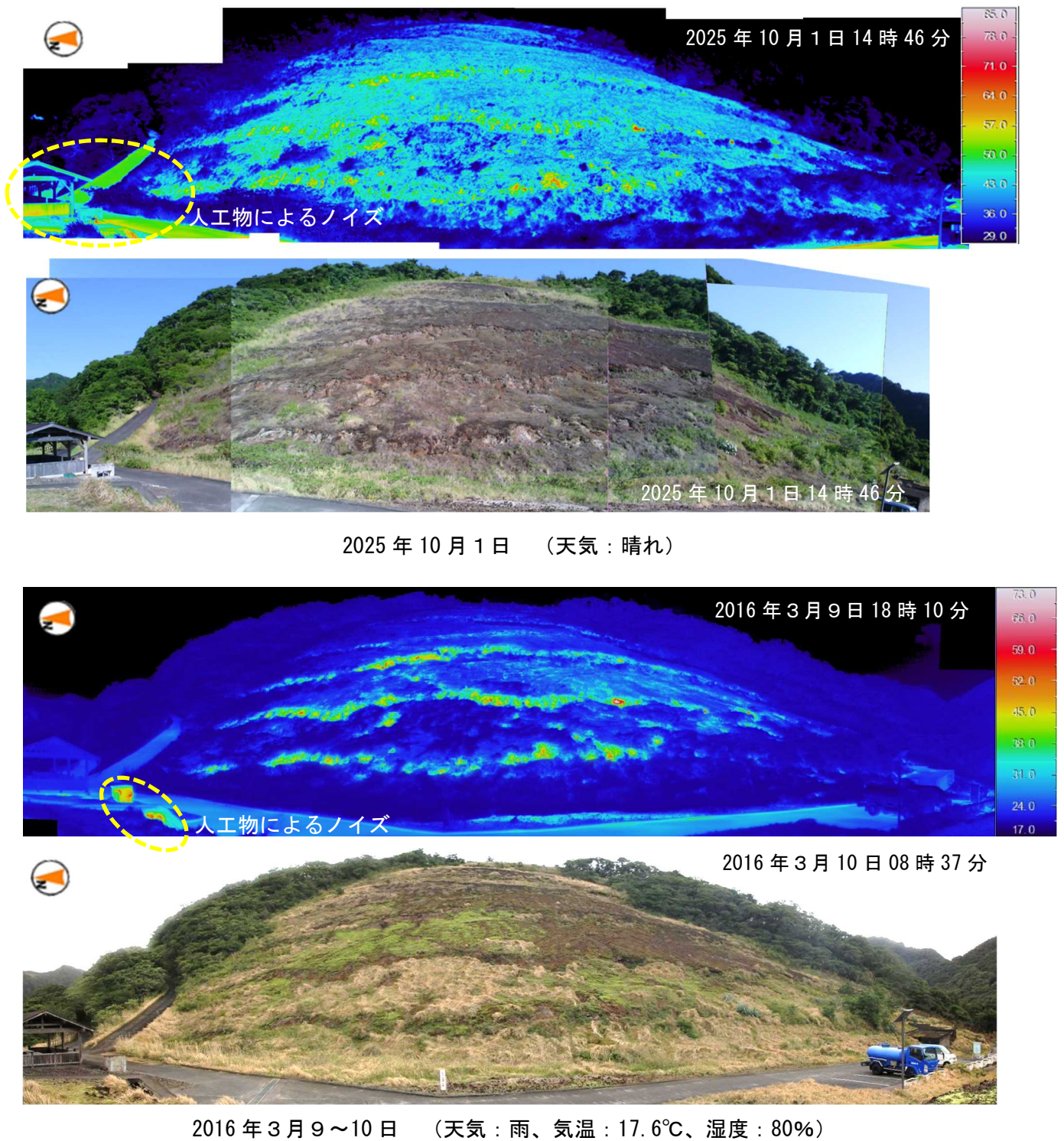


図3-2 青ヶ島 丸山西斜面の状況

・日射の影響を除き、前回（2016年3月）と比べると地熱域に特段の変化は認められませんでした。また、噴気は確認できませんでした。

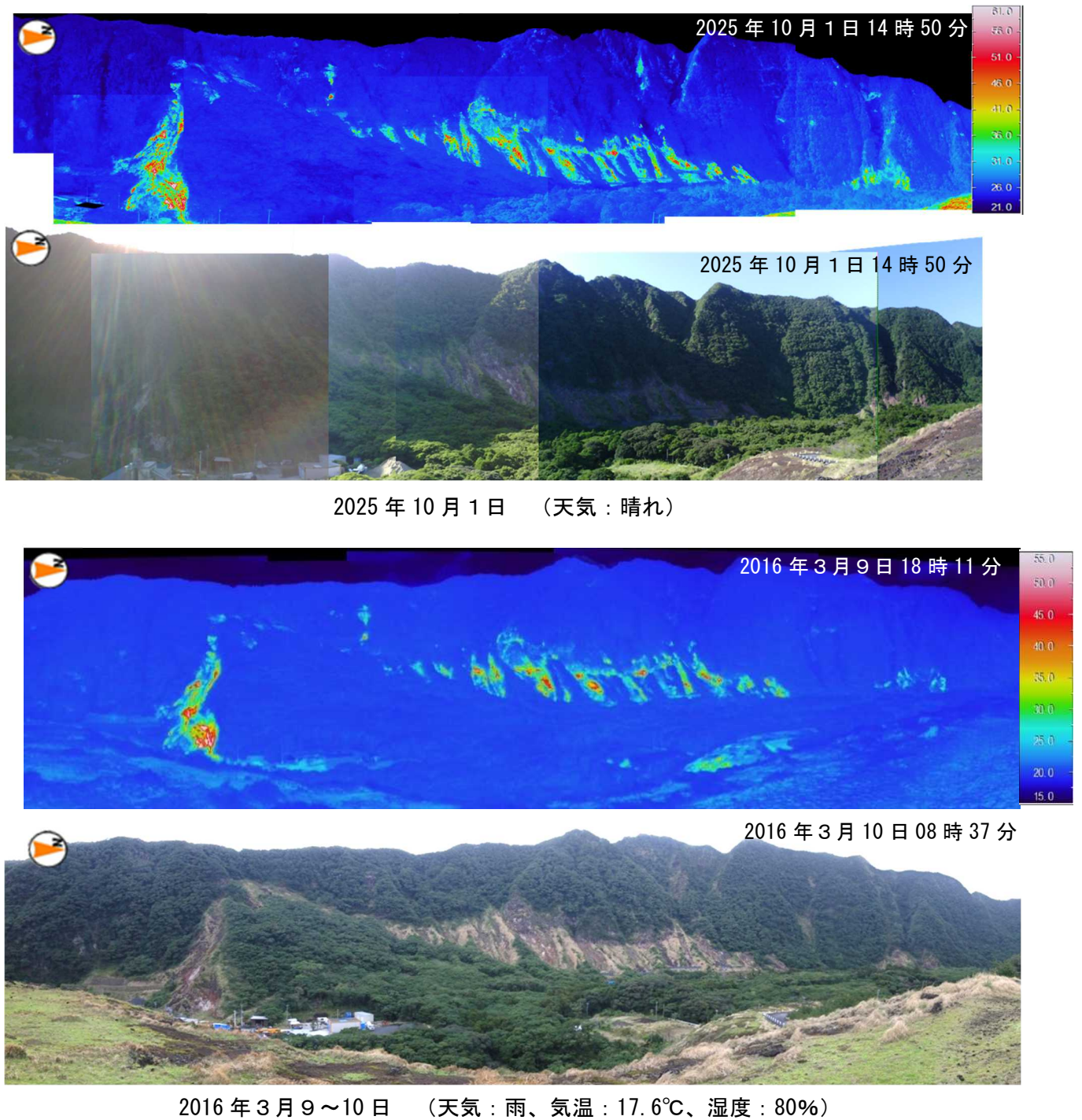
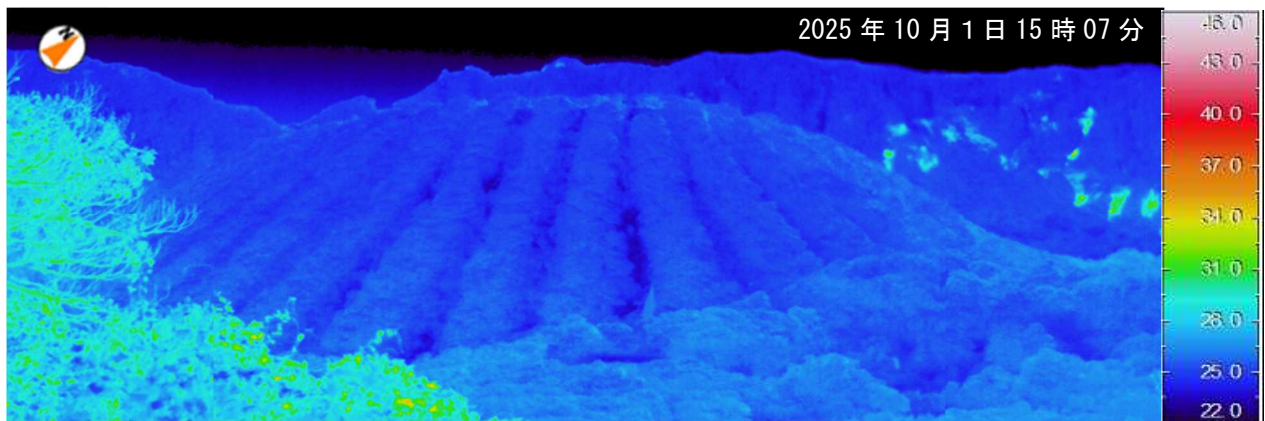
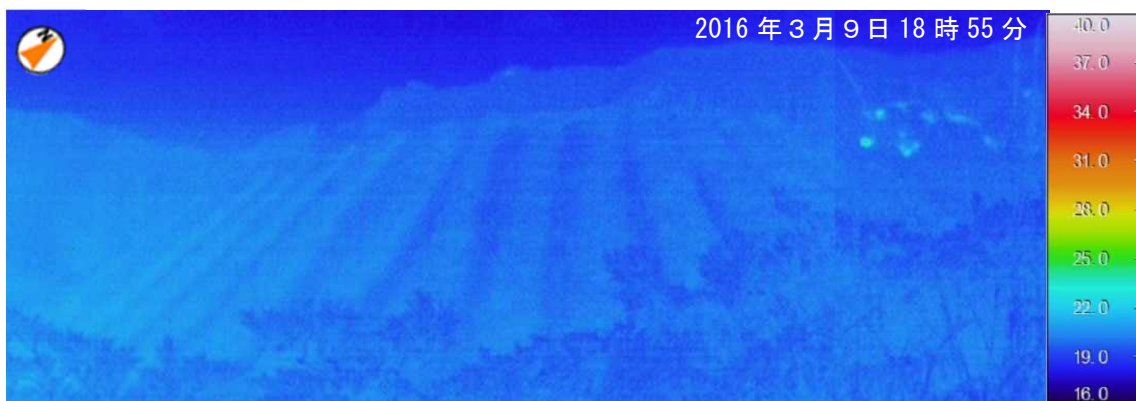


図 3－3 青ヶ島 外輪山の内側西斜面の状況

・日射の影響を除き、前回（2016 年 3 月）と比べると地熱域に特段の変化は認められませんでした。また、噴気は確認できませんでした。



2025 年 10 月 1 日 （天気：晴れ）



2016 年 3 月 9～10 日 （天気：雨、気温：17.5℃、湿度：84%）

図 3－4 青ヶ島 丸山北東側の状況

- ・前回（2016 年 3 月）に引き続き、丸山斜面に地熱域は認められませんでした。

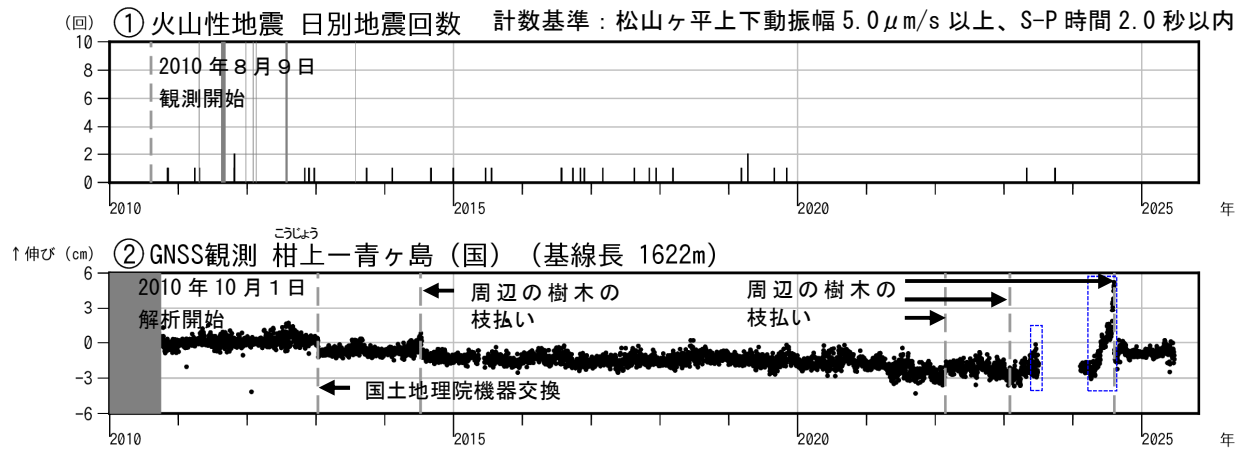
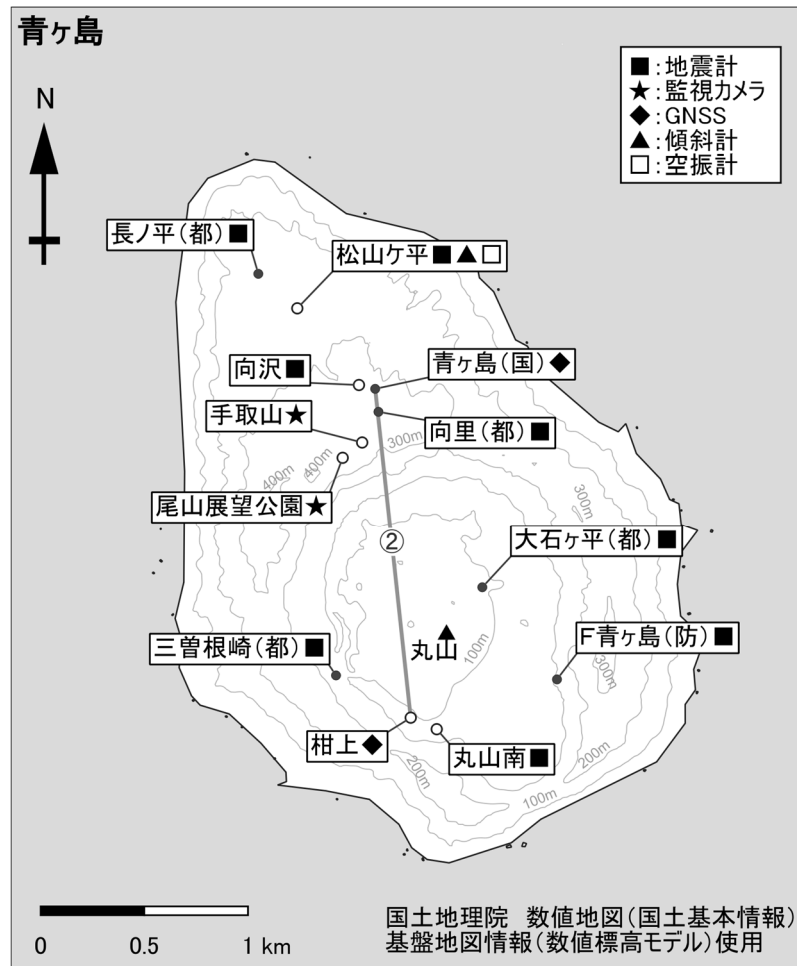


図4 青ヶ島 火山活動経過図 (2010年8月9日～2025年10月31日)

- ① グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示す。
 ② (国)：国土地理院、図5のGNSS基線②に対応。グラフの空白部分は柑上の障害による欠測を示す。
 ・青破線で囲んだ変化は柑上観測点周囲の樹木による影響と考えています。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(都)：東京都

図5 青ヶ島 観測点配置図
 GNSS 基線は図4の②に対応しています。